

**2022年度 明治大学と大阪大学・京都府立大学・関西大学との
考古学・古代史大学院生研究交流プログラム**

進行表

日時:2023 年1月8日(日)

会場:ZOOMによるオンライン

1月8日

- 10:30-10:35 開会挨拶 石川日出志(明治大学教授、考古学)
趣旨説明 佐々木憲一(明治大学教授、考古学)
- 10:35-11:00 佐藤豪(明治M1) 弥生時代中期中部・関東における平沢型壺の波及と変遷
- 11:00-11:05 質疑
- 11:05-11:30 蓮井寛子(大阪M2) 弥生時代中期の大規模集落における墓群構造の検討
—中河内地域を中心として—
- 11:30-11:35 質疑
- 11:35-12:00 井上姫菜乃(明治M1) 古墳時代中期衝角付冑の技術的規格からみた「同工品」の検討
- 12:00-12:05 質疑

12:05-13:30 昼食休憩

- 13:30-13:55 我妻佑哉(大阪M2) 6世紀前葉における須恵器長脚無蓋高坏の諸類型と地域差
- 13:55-14:00 質疑
- 14:00-14:25 小西竜世(明治M1) 茨城県域における6・7世紀土師器様式の再検討
- 14:25-14:30 質疑
- 14:30-14:55 エミル マルテ アンデルセン(大阪M2) 日本における亡命百済・高句麗移民と
その子孫の同化過程
- 14:55-15:00 質疑
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:35 溝口泰久(京都府立M) 恭仁宮造営に伴う搬入瓦の検討
- 15:35-15:40 質疑
- 15:40-16:05 陳泓錚(明治M1) 日唐散位の再検討
- 16:05-16:10 質疑
- 16:10-16:35 王琳婷(関西D) 日本出土の南宋龍泉窯青磁と日本中世におけるその受容に関する一考察
- 16:35-16:40 質疑
- 16:40-17:10 感想戦(皆さんのコメントなど)
- 17:10-17:15 閉会挨拶 福永伸哉(大阪大学教授、考古学)